

研究倫理に関する情報公開

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部で実施しております、以下の研究課題についてお知らせします。

1. 本研究に関するご質問やご要望がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の皆様の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。
2. 提供していただいた試料・情報が、本研究に用いられることを希望しない場合は、研究の対象外といたしますので、下記までご連絡ください。
※試料は「医学的な研究における血液など」、情報は「アンケート調査などにおける年齢、性別、回答の内容など」を意味しています。
3. 2のような「研究の対象外として欲しい」とのご要望については真摯に対応いたします。そうした場合、研究対象者の皆様に不利益が生じることはありません。なお、論文執筆中の研究データ、既に学会や論文で発表された研究データについては、完全に削除することができないことがありますので、ご了承ください。
※研究データは2で述べた試料・情報を分析したものを意味します。

■情報公開日 2025年09月30日

■研究課題番号 OPT 2025-01

■研究課題名

小学生がおこなう向社会的行動：相手，行為，気持ち・理由の計量テキスト分析

■研究組織の構成

1. 研究代表者・研究責任者

齋藤 信（鈴鹿大学こども教育学部 教授）

2. 共同研究者

杉山 佳菜子（愛知みずほ短期大学現代幼児教育学科 教授）

■研究の目的と意義

本研究では、小学生がおこなう向社会的行動について検証することを目的としています。向社会的行動（prosocial behavior）は「他の個人や集団を助けようとしたり、こうした人々のためになることをしたりしようとしてなされた自主的な行為」とされています。小学生の向社会的行動の発達、思いやりの発達として研究されており、道徳性を中心とした学校教育でも大切なものとされています。本研究は小学生の思いやりの発達の支援に貢献するものとなることを目指しています。

■研究の方法

1. 研究対象者

2019年10月に三重県内の小学校で「誰かを手伝ったり 助けたりすることについてのアンケート」に回答してくださった小学1年生から6年生の皆さんです。

2. 研究期間 2019年10月01日～2027年03月31日

3. 研究内容

本研究では、小学生の皆さんに、向社会的行動における、相手（誰に）、行為（してあげたこと）、気持ち・理由（その時の気持ちや理由）について自由記述と選択枝による回答を求めています。自由記述の回答については計量テキスト分析をおこなって、その特徴を明らかにして、4に述べるような情報との関連を分析します。

4. 研究に使用する試料・情報の項目（アンケート調査の回答など）

学年、性別、向社会的行動の頻度、向社会的行動の相手（誰に）、行為（してあげたこと）、気持ち・理由（その時の気持ちや理由）

■試料・情報の管理方法

回答して頂いた質問紙は施錠できる保管場所にて保管しています。質問紙の情報を入力した電子ファイルの研究データは研究代表者（研究責任者）が厳重に管理しています。研究組織を構成する2名が共有する電子ファイルには、アクセス制限をかけており、2名以外はアクセスできません。さらに2名が共有する電子ファイルにおける個人情報、記号で置き換えています。これらの研究データについては研究期間終了後に10年間保管して質問紙、研究データとも完全に消去します。

■試料・情報の保護方針

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

■研究倫理審査

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部研究倫理審査委員会で承認されています。

承認番号 2020-002

承認年月日 2020年10月21日

■個人情報の取り扱い方針

提供していただいた収集した研究データは、誰のものか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形でおこないます。

■本研究に関する連絡先

所属・役職 鈴鹿大学こども教育学部 教授

氏名 齋藤 信（研究責任者）

電話 059-372-2121（代表） 059-372-3987（直通）

※平日 09：00-17：00

メール m-saito@suzuka.ac.jp

以上